

平成 23 年度 すぎなみ大人塾（昼）コース

第 2 回：「2つのモジュール(ショップとアート)とプロジェクト学習グループづくり」

学習支援者：松田道雄 東北芸術工科大学教授・着想家

補助者：谷原博子 フリーアナウンサー・地域コーディネーター

平成 23 年 6 月 27 日（月） 10:00～12:00

会場：セッション杉並 於：視聴覚室

松田さん

まずはお互いの情報交換をしていただいて、何かひとつ情報を共有するというだけで構いませんので、おしゃべりをしていただきたいと思います。虫除けスプレーをもってきてくださった方がいらっしゃいますので、そちらは虫除けスプレーを中心に話ししながら広げていただけたらと思います。みなさんは、何か持ってきていただけましたか？

講座参加者 A

僕の友人が埼玉県の小川町の紙すき職人のもとに 4 月から弟子入りしまして、この紙をいただきました。彼によると、和紙は習字や障子など、とても限定的な使われ方しかされていないそうです。和紙の使い方や新しい環境のアイデアを求められたのです。普段、接しているものでも、別の視点で考え合うと、新しい使い方が生まれるかもしれません。和紙も発想の 1 つに入れていただけたら幸いです。小川町とのコラボも視野にいれられると思います。あと、もう 1 つですが、期日が終わったポスターは大量に出てきます。これも、皆さんのアイデアで何か別のものに変化したり、社会に発信できるような何かができるしたら、セッションのほうで使われて用が終わったものが新しい事物になって皆さんの手で発信していただけたらなと思っています。そういう理由で、今日は和紙と賞味期限切れのポスターを持ってきました。」

谷原さん

小さな文房具屋さんで、ポストカードの余りなどをご自由にお持ちくださいと書いてあって、お店に入ったら、袋いっぱい紙の切れ端みたいのがありました。一袋 100 円ですが、震災で遠くの人たちにメッセージを伝えるなら、ご自由に持って行ってよいとのことでした。切れ端の小さなものですが、切り貼りをして一言カードというのを作りました。本当にこのくらいのサイズにしか使えない紙なんですけれども、何かのアイデアになればと思い持参しました。

松田さん

それでは、みなさん自己紹介をしながら、自分たちが持ってきたモノや関心のあることを話し合ってください。始めてください。

<グループごとに会話を開始>

松田さん

各グループから、どんな話し合いになったか、お話いただきたいと思います。どんな話題、どなたかが何かものを持ってこられたのなら、その説明もお願いします。そのあと、私の方から今日の講座のミニミニガイドンス、その後、みなさんにはグループを回っていただきます。自分はこちらの内容について何か一緒にこの方とお話したいなとか、この活動を私もちょっと覗いてみたいなとか、テーマごとに関心のある方同士で机を自由に動かしながら集まってお互いの関心を高めてください。では、こちらのグループからお願いします。簡潔に内容だけパッとお話しください。

<グループA>

少子高齢社会とコミュニティに関心が集まりました。

<グループB>

ここのグループは自己紹介をしまして、田んぼづくり、リメイクをされてる方など、ボランティアをされている方が多くいらっしゃいました。

<グループC>

それぞれの自己紹介で、ボランティアならいくらでも出来るという方と、転勤が多かったので、地域活動は浅く広くしかできなかった方、盆踊りなど地域イベントには参加されている方などいました。私は、「おばちゃま女子会」というのをやっています。いつも駅に集合するので、何か目印になる名札以外のものを手作りしたいと考えていたので、みなさんにアイデアを聞いてみました。そうしたら、髪飾りのシュシュがいいんじゃないかとアイデアを頂戴できました。

<Dグループ>

私を作った、エッセンシャルオイルとハーブで作った虫除けスプレーを持ってきました。ただ、何年前前からこういうものは流行っているかなと話をして、いろいろこういうものをやっているところがあるのか、ハーブを使って何か他のことができないかとか、そういう話をしました。

### < Eグループ >

うちのグループは、和紙の使い方について考えてみました。匂い袋のように、使わなくなった香水を入れて筆筒や靴箱に入れたらいいという話が出ました。

松田さん

短い時間ですが、皆さんいろいろとご関心あるようです。この講座の目的の確認をしましょう。今、われわれは意図的に集まって、講義を受けたり、アイデアを出し合ったりしています。いずれは講座も終わります。その後、皆さんがそれぞれ区内の生活の中でよりよく生きようとされますが、ここで意図的に集まって学んだ目的を活かしてほしいのです。皆さんのご活動がご近所でもいいし、知り合いの方でもいいし、興味ある友だちの方でもこの講座のメンバーの方でもいいです。集まって、何か他の区民生活の方にも、良いことを伝えてください。何を皆さんがやっていくかということです。例えば、終わった後、皆さんでお食事行きましょうとかお付き合いが生まれるのもすてきです。

コミュニティや仲間とかということですよ。人と人のつながりをどうしたら活性化できるのでしょうか。2,000年頃、ITバブルがありました。あの時、世界中がこれからはネットワークの時代だと確信していたのです。これは技術のことだけではなくて、人と人のネットワークのことです。物理学の研究者や社会学の研究者が、サーズウイルスがどうやって拡がるのか、癌がどう拡がるのかを学問の枠を超えて研究し、コオロギや鈴虫の鳴く声の研究から、いきなり人間社会の研究にいくとか様々でした。ダンカン・ワーツという研究者が提唱したスモールワールドネットワークが、ネットワーク活性化の指針になりました。集団がよりよく活性化するには、全くランダム。全くめっちゃくちゃな集まりだと、なかなか収拾がつかない。では、全く馴染みのメンバーだったら活性化するのか？実は、そうでもないのです。

昔ながらの顔馴染みとか、また同じメンバーとか、同じ趣味の仲間では、なかなか発展性がない。もっとも活性化するのは、何となくのテーマ性も規則性もあるんだけど、規則性の中に不規則性をわざと入れる。すると、この不規則性のおかげでネットワークが活発になるのです。人間集団の中でも、例えば中国の人たちがメンバー、ふるさとにイタリアにいる人たちが住み着いて、今度住み着いて成功するとその親戚の人を呼ぶわけです。今度はその人を通して中国とイタリアの一つの産業が作られていく。別に意図的に行ったとかではなく、たまたま偶然に行ったとか、そういう自分の顔なじみを越えて、全く不規則な人、意外な方、異質な方、異端の方も取り込むことによって、その人を排除しないということによって、何かしら活性化が見られるというのがネットワーク社会の一つのあり方です。

これは本当のことかは分からないので、1つの参考事例です。是非、初めての方々同士だとやっぱり馴染むのに時間がかかるわけですね。全く新たな思わぬ所の活性化には、外部もどんどん入れ込むような多様性をもつことです。

われわれも有限の時間の中で、会話をし、活動をしています。話ばかりだと活動ができませんし、活動ばかりしているとお互いの了解が得られない。これをどういう風に組み合わせるかが大事です。そんな形で無理ないことで、何か世の中に出られることがないかなと思っています。

今から、いきなりすぐこの関心ごとにグループといっても、どなたかも分かりませんよね。ちょっと気楽に休憩タイムのようにしながら、自分が関心あるものに入って、関心ごとに話し合いをするグループを作ってください。少し時間を取りますので自由にテーブル動いていただいて他のテーブルの方のお話ください。その後自分の関心ごとに集ってみようかなと思っています。

松田さん

皆さんいかがでしょうか？サクランボ洗ってくださいましたのでお分けします。すると、ここにいるんな方いらっしゃるって、放射能なんかを気にされている方もたくさんいます。山形のサクランボも放射能で危ないんじゃないという方もいらっしゃるって、今年は観光の方も3分の1しか来ないらしいんです。山形市からさらに北に行って、天童、東早苗のさらに北の村山の方の葉山の麓のサクランボです。召し上がりたい方はどうぞ！」

松田さん

ここでいただきながら、グループ分けというか自分の関心あるテーブルにお声掛けください。それでグループを作って、それぞれのテーマごとに話をするようにしましょう。

何か一緒にやりたい一緒にお話したい、そういう風な関心をもとにテーブルを作ってみましょう。皆さんの方で自由に動いてみてください。皆さんで機転を利かせていただいて、まず今日はあの方とお話してみようかなとか、まだお話なってない方、関心のある方でどんどんグループ作ってください。

松田さん

ここはカード作りテーブルになっています。

松田さん

こちらのテーブルはゴーヤを通してエコな人間関係を作りたいというチームです。



松田さん

こちらのテーブルはハーブで虫除けスプレー作り、ハーブを育てようチームです。



松田さん

どうぞみなさん動いて、自由に動いて新しいグループになっていただいて結構です。

松田さん

こちらはコミュニティ談義です。昔の昭和の杉並の暮らし。昔の地域付き合い。近所付き合い。かつての懐かしい人付き合いなどを語り合ひましょう。そんなグループです。

松田さん

今日は始まって、実質的に1回目ですのでできるだけお互いの人の親睦を深めるようなことで練習を深めていきましょう。今のテーブルでどんな話し合いとかどんなことがなされたのか、各テーブルの代表の方がみなさんに紹介をお願いします。

谷原さん

ちょっと面白いTシャツを着ていらっしやいますね。それを含めて、グループのことをご紹介いただけませんか？

<カード作りグループ>

こちらでチラシをリサイクルして、カード作りを教えていただいています。不器用な私が楽しく癒される気持ちで作らせていただきました。今日、私が着ているのは、大震災の支援の団体の「プロジェクト伝」が作ったTシャツです。震災に遭った人たちはインスタントとか冷たいものが多いようです。そこで、南青山などの有名なシェフが、現地に行ってフランス料理を提供していらっしやるのです。Tシャツは1枚5250円ですけど、そのうち1,000円は食材とか広告代の支援になっています。これは全部、純日本製で日本の職人さんの貢献です。体力だけは自信があったので、ボランティアツアーに行きたいと思っていたのですが、30分でいっぱいになってしまいました。もうちょっと先になってから、ボランティアツアーにでも行こうと思っています。

もし、ご賛同される方がいらしたら、私が申し込みのやり方を持っていますので、ちょっとそれを皆様にお話させていただきたくこの場を希少の時間をいただいて申し訳ありません。

#### <ゴーヤグループ>

ゴーヤで出来た緑のカーテンを、どのように活かそうか考えました。ゴーヤをやたらとあげたら迷惑になりますし、芽が伸びてしまって屋根まで行くようだったらどうやって手入れするのかを考えました。お家を緑で包みながら、狭くてもエコに活用できたらいいんじゃないかと、ただただ楽しく話しただけなんです。

#### <虫除けスプレーグループ>

みなさん、興味があって作ってみたいと思う人は多いんですけど、作った後にどうするんだろうと考えました。結局、何かを買って作らなければならないですね。先ほど言ったような無駄になるものを上手く活用できる方向で発見したほうがいいんじゃないかとか、ハーブで何かできるものがあるのかを話し合いました。

#### <工芸グループ>

私の友達で絵本のイラストを描いている主婦たちがいて、そのお友達と一緒に森をテーマにした作品展を吉祥寺と阿佐ヶ谷で開くんですが、私は工芸で森の動物たちみたいなものを作ったりするので、そのご紹介をさせていただきました。このチラシも、ここの窓枠に沿って切ってもらおうと、女の子の顔が出てきます。後でお渡しできたらいいかと思います。

#### <少子高齢化グループ>

私たちは具体的なことは決まっていません。自己紹介の中で杉並が好きだということと、企業に勤めていたので杉並に住みながら、企業の間人関係でやってきて、地域の近所の方と挨拶をする程度で、男性は立ち話をするというのはほとんどありません。何かを作っておしまいということではなく、われわれの創意というクリエイティブな発想を提言し、その中で街を美しくしていくための街レベルのツールみたいなものをテーマで取り上げて、そういうものに落とし込んでいくというようなことができれば、この大人塾の中でステップの中でできたらいいかなという風に思っています。

実は昨年1年間は、杉の樹大学でグループ研究をやりました。その時にまとめた資料を持ってきました。杉並は自然がいっぱいあるので、私たちが選ぶ杉並の景観というテーマを選びました。単に景色を取り上げるのではなく、そこには暮らしがあります。暮らし目線、生活者の視点で、杉並の景観を選びました。これも私の個人的な考えですけど、せっかく景観があるのに、地域で暮らしている方が知らないことも多いようですから、ヨーロッパのように、街のサインを整えることを考えています。美しい街づくりに少しでもグループで取り組んでいくことが提案できたらいいのかなと思います。このような企画を進めていくと、互いの意見を交換することも増えますし、一緒にいる時間が増えていきます。企画が終わった今でも、付き合いが続いておりまして、現在でも月に1回全員が集まってい

るんです。やってみて、本当に良かったなと思います。今度の会でも、具体的なテーマを設けて、みんなで話し合っ、その中でモノならモノを基本的な背景をもとに作って提案できたらいいと思います。

松田さん

今日の実質の1回目ですが、みなさんそれぞれの人柄と持ち味と環境、関心というのが分かれていて素晴らしいなと思いました。次回は、バージョンアップさせましょう。1番われわれが知恵を絞らなければならないのが、時間とお話と活動の組み合わせですよね。私も欲張りなので、そちらのカードに興味あるなどが、虫除けスプレーのお話を聞けないかなと思ったり、学びたいのです。お互いが学びたいものを追求していく、その中で人と人のつながりを意識してください。自分にできないことがあれば、だれかに相談してみましよう。逆に、できることがあれば、提案していく。そんな感じで、ここのお部屋が一時でも非常な多様性の空間というか、ミニミニコミュニティになればいいのかなと思います。

もし、是非みなさんに紹介したい、もしくは自分から積極的に紹介したいという場合には、共通のテーブルを作りましょう。みなさんに紹介したいようなミュージアム型のテーブルです。みなさんが紹介したい、お披露目したいもののテーブルがあって、いつでも眺めて見られるのもいいかもしれませんね。この短い時間でみなさんがお互いに学び合えることができるように、みなさんそれぞれ工夫してご持参ください。

何気ないことですが、今日われわれこの場に来て全く予期しなかったようないろんな発見をしましたよね。学びましたよね。それは誰のおかげかというとなみなさん同士のおかげなんですよね。それが住民生活の豊かさの原点と思います。

ちょっと次回からの大きな前半からの流れの確認をさせてください。まず今の段階は、次回はこれのもうちょっとここの場で発展させましょうということです。基本は手を動かしながら語り合う。手を動かす。先ほどのパソコンを動かすというのも手を動かすというのに入りますね。ただ単に何ももってこないでおしゃべりというのではなくて、何かを持ち寄る。それで自由に語り合っ、親睦を深めて。それをさらによりよくみなさんに見せられるような工夫をしましょう。次の週から、大きく2グループに分かれて、実際にここの教室から外に出て、何か杉並でできないかなという準備をしたいと思います。1つは、お店です。ハーブのスプレーを皆さんで杉並のお店に置けないかとか、もしくは、置くような常設店のやり方とか、場合によっては、ハーブスプレーの教室を開くのも面白いでしょう。どこまでやれるかをトライする。できなくたって、かまいません。

もう1つは、みんなでクリエイティブな活動をみんなで楽しむアート部門です。これは具体的には、七夕祭りですね。祭りで使うハリボテをこのメンバーで何か1つのものを作っ

て展示する企画です。これも手を動かしながらおしゃべりになるんですよ。親睦も深まります。これはハリボテを出すのが目的ではなくて、共同制作をしながら親睦やコミュニティがどれくらい深まるか実験しようということです。結果的にこんなことしても人付き合いが深まらないとなるかもしれないですし、もっと別の方法がいいんじゃないかということになるかもしれません。それは後半戦に成果をさらにやっていきましょう。大きな流れはこんなことですが、いかがでしょうか。

3回目からはこんな風に、大きく2部門に分かれてこの部屋でいろいろやっていきます。来週、今日のみなさんの持ち味、是非お互いにさらにお披露目できるようなものを持ってくるといふ工夫をしてみましょう。また次回も楽しい集いの場になるようにできたらいいかなと思います。今日の間でお話をなさらなかった方と積極的にお帰りまでに声をかけて、何か親睦を深めるようなことをされたら幸いです。ただその時に、何も無い所で親睦ってできないんですよ。立食パーティーの場合には、飲食があるからうまくいきます。飲食の代わりに、今日はテーブル片づけやお掃除をしながら、お話されてない方と1人でも2人でもお話をしてください。ちょっと早いですが、今日はこれで終了となります。お疲れさまでした。